

基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症対策を着実に進めるとともに、あらゆる分野でデジタル技術の活用を促進するなど、5つの基本政策と3つの横断的な政策にかかる取組を強化し、**県勢浮揚に必要な施策を着実に実行するための体制づくりを推進**

1. 経済の活性化 ～第4期産業振興計画ver. 2の推進～

飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

～関西圏との経済連携の強化～

○ 関西戦略推進体制の強化

- ・「関西・高知経済連携強化戦略」(3月策定)に基づき、大阪観光局や在阪企業等と連携し、観光客の誘致や外商の促進につなげるためのプロジェクトを本格展開
- 「地産地消・外商課」(担当チーム(3名体制)を設置)及び「大阪事務所」(8名→10名)の体制を強化
- 「(一社) 県地産外商公社大阪グループ」(3名→4名)及び「(公財) 県産業振興センター大阪事務所」(3名→4名)の体制を強化



～新しい生活様式や社会・経済構造の変化への対応～

① 新しい生活様式に対応した外商支援の強化

- ・コロナ禍により変化した食品需要に対応するための事業戦略づくりや新しい生活様式に対応した商品開発支援を強化
- 「地産地消・外商課」の体制を強化(担当チーム: 3名→4名)

② 産業分野のデジタル化推進

- ・県内企業のデジタル化による生産性の向上や高付加価値の創出を促進するため、デジタル技術導入に向けた支援やデジタル人材の育成の取組などを強化
- 産業分野のデジタル化を推進する体制を明確にするため、「産業創造課」を「産業デジタル化推進課」に名称変更
- 「(公財) 県産業振興センターに「デジタル化推進部」を設置

～持続可能な社会づくりに向けた取組の強化～

○ カーボンニュートラルの実現に向けた取組の強化

- ・2050年カーボンニュートラルの実現に向け、アクションプランを策定し、森林吸収源対策や省エネルギー化などの取組を推進
- 「新エネルギー推進課」を「環境計画推進課」に改編するとともに、「企画監(カーボンニュートラル推進担当)」を設置

2. 日本一の健康長寿県づくり

日本一の健康長寿県構想
県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるために

① 地域包括ケアシステムの推進体制の強化

- ・高知版地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携を強化し、在宅療養体制の一層の充実に向けた取組を強化
- 健康政策部に「在宅療養推進課」を設置



② 子ども関連施策の推進体制の強化

- ・子どもたちを守り育てるための「高知版ネウボラ」を推進し、妊娠期から子育て期までの子ども関連施策を切れ目なく一体的に進めていく執行体制を構築

子ども・福祉政策部改編の概要



- ▷ 「地域福祉部」を「子ども・福祉政策部」に改編
- ▷ 母子保健事業を健康政策部から移管
- ▷ 女性の活躍推進事業を文化生活スポーツ部から移管
- ▷ 子ども、女性、高齢者、障害者施策などと連携し、共生社会の実現を目指すため、「人権課」を「子ども・福祉政策部」に移管

